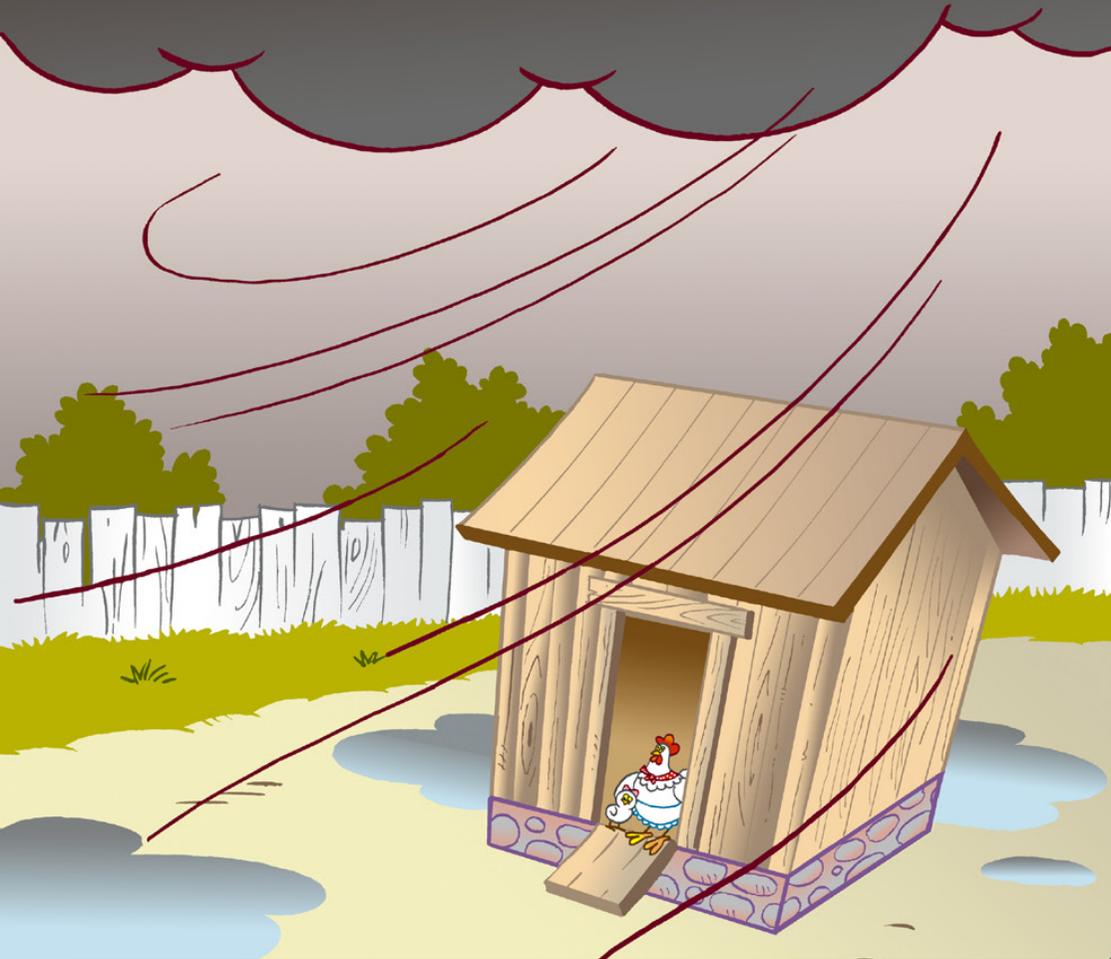


のうじょう えいゆう 農場の英雄たち



あらし いち にちじゅう
嵐は 1日中 ふきあれ、ますます はげしく なっていました。くろ くも そら
おおい、いなすま ひか おも
おお、稲妻がピカッと光ったと思ったら、その直後に雷がバリバリッと
な
鳴りひびきます。めんどりのヘリエッタとひよこのジェニーはにわとりこや
そと
外であれくるう雨風の様子をながめていました。

「いやな嵐ね!」とヘリエッタが言いました。

「暗いし、うるさいわ。」と、小さなジェニーも言いました。

「頭の上にじょうぶな屋根があって、よかったわ。農夫のジョーンズさんが、
あらし くま え どうぶつ
嵐が来る前に動物たちをみんな、納屋に入れてくれたおかげね。」と、
ヘリエッタ。



その時です。そら いなすま ひか おも
その時です。空に稲妻がピカッと光ったと思ったら、
かみなり
雷がドーンと鳴りひびきました。

「まぶしくてすごい音だったわ! だいじょうぶかしら?!」と、
ジェニーが声を上げました。

「嵐が 近づいている しるしね。さあ、中に入^{なか}って、嵐が 過ぎるのを 待ちま^{まち}しょう。」と、ヘンリエッタが 言^いいました。

そこで 2羽が にわとり小屋^{ごや}の中に入^{なか}ろうとすると、稲光^{いなびかり}と 共に、雷鳴^{らいめい}が とどろきました。

「大^{たい}変^{へん}！ 雷^{かみなり}が ジョーンズさんの 家^{いえ}に 落ち^おたわ！」と、め馬^{うま}の ホリーが いななきました。

「雷^{かみなり}が 落ち^おると、どうなるの？」と、ジェニーが たずねました。



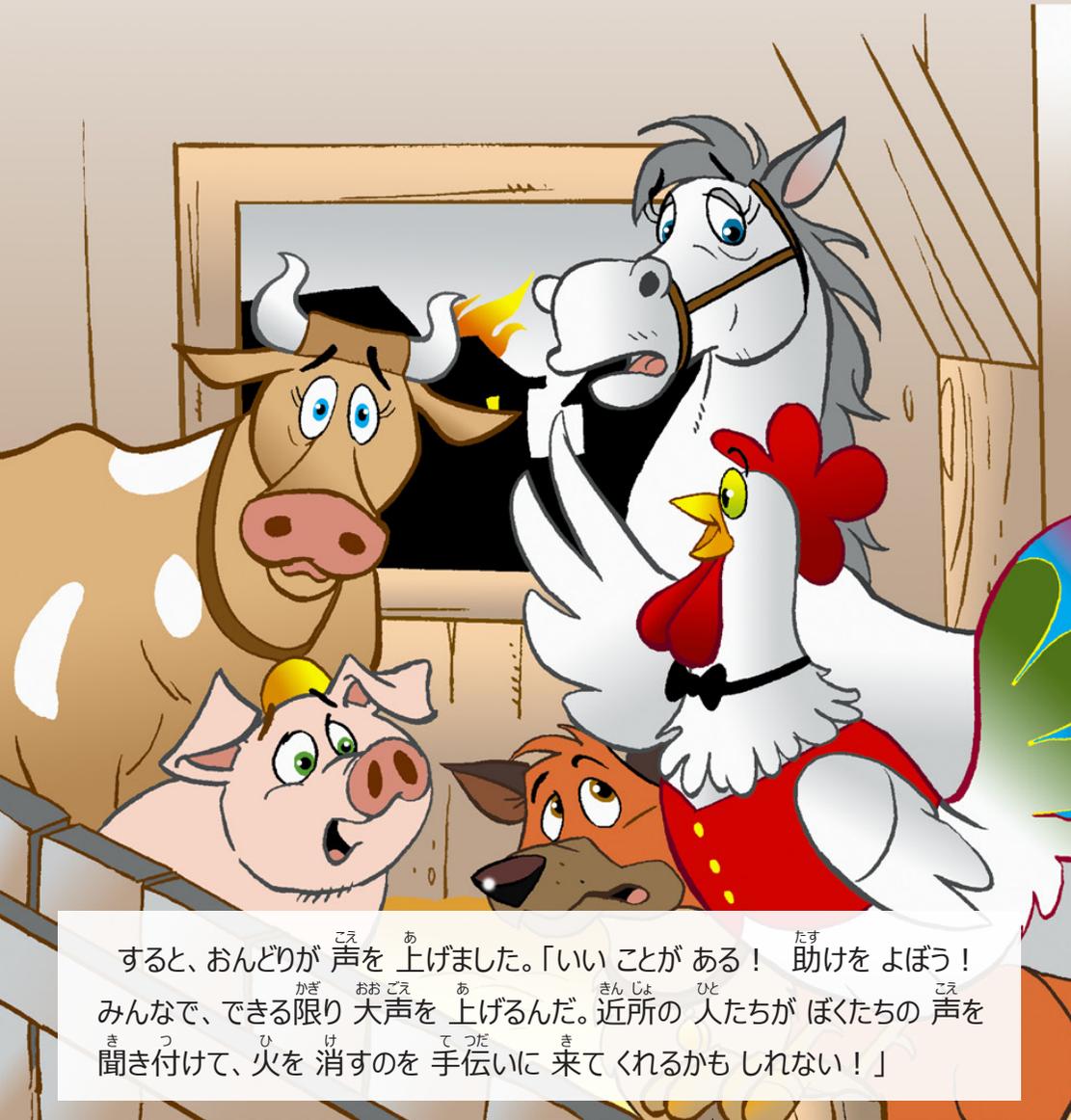
「火事^{かじ}になる ことも あるわ。ジョーンズさんの 家族^{かぞ}、
だいじょうぶかしら。」と、ヘンリエッタ。

その時です。木造の母屋の向こう側から、小さなほのおが燃え上がっているのが見えました。

「母屋が…火事だわ！ どうしましょう！」と、め牛がさげびました。

「わたしたちだけで火を消すことはできないわ。」と、ブタが言いました。

「だけど、ジョーンズさんたちを助けないと。」と、ホリー。



すると、おんどりが声を上げました。「いいことがある！ 助けをよぼう！ みんなで、できる限り大声を上げるんだ。近所の人たちがぼくたちの声を聞きつけて、火を消すのを手伝いに来てくれるかもしれない！」

「それがいい。」と、動物たちがいっせいに言いました。そこでみんないっしょに、大声を上げ始めました。



大きな馬車馬のジョージは、納屋のとびらをけり上げました。とびらが開くと、大声でいななき、力いっぱい後ろ足で地面をけり上げ、農場を走り回って、大さわぎしました。

となりの家では、
ブラウンさんがおくと
キッチンにすわって
いましたが、道の向こうから
聞こえてくるさわざに
気付いて、まどの外を
見ると、おとなりの馬が
地面を後ろ足でけりあげ、
いなきながら、あらあらしく
走り回っています。



「一体、何事が起きたんだ？」
そう思ったジョーンズさんは、けむりが
上がっていることに気が付きました。

「早く、シャーリー！ 消防署に電話してくれ。
すぐに、消防車をよこしてもらうんだ。
ジョーンズさんとこの家が火事だ。」
おくさんにそう言うと、ブラウンさんは
急いでトラックに飛び乗り、ジョーンズさんの
家にかけ付けました。



すうぶん しょうぼうしゃ
数分もすると、消防車の
サイレンの音が聞こえてきました。
にたい しょうぼうしゃ
2台の消防車が着くと、
すぐさま火を消しにかかりました。
ジョーンズさん一家は、ほのおに
はばまれて、2階からにげられずに
いたのです。

しょうぼうし
消防士さんたちは、
はしご車のはしごを
にかい
2階のまどにかけて、
いっか
一家をまどから安全な
ばしよ
場所にひなんさせました。
いえ いちぶや
家は一部焼けて
しまいましたが、かぞく
のいのちのうしよふし
命と農場は無事でした。



「本当に、感謝しても きれないくらいです！」 ジョーンズさんが
ブラウンさんたちに 言いました。

「ジョーンズさん。あなたがたの 命を 救ったのは、ご自身の
動物たちですよ。」 そう 言っ、ブラウンさんは ジョージの 金色の
たてがみを なでました。「動物たちが あんなに 大さわぎして
いなかったら、すぐには 気が 付かなかったでしょうから。」



「ヒヒーン！」 ジョーンズさんが 笑って ジョージの
はなを なでると、ジョージが うれしそうに いなくなりました。

「全く、その通りだ。農場は
無事だったし、わたしには
自まんで できる すばらしい
動物たちが いる。」



のうじょう どうぶつ 農場の動物たちは みんな、うれしそうです。のうじょうぬし かぞく のうじょう まも 農場主の家族、そして農場を守るのに
やくだ た よろこ 役立てたことを、とても喜んで いました。ひよこの ジェニーが お母さんの つばさの 下から
かおだ ぶじ 顔を出すと、みんな、無事でした。いつもは ふきげんな 老犬の ハンターまで、うれしそうに
しっぽを ふっています。

さいしょ は、ジョーンズさんの 助けになるような ことは 大して できないと 思ったけど、
やくた た ほうほう み 役に立てる方法が 見つかって、良かったわ。」と、ジェニーが 言いました。



かあ 「母さんもよ！ みんなで 力を 合わせるなら、
たす ひつよう 助けを 必要としている だれかの 役に 立てるって
いう ことね！」